



Good Wood Communication!

かけがいの森から



居尻の大径木伐採現場、作業完了

昨秋より、居尻で大径木の伐出作業を行ってきた。この現場は急斜面で、地面には拳大の岩が多く足場が悪い。しかも伐出する木は大きく、直径1メートルを超えるものもある。伐採作業、集材作業ともに安全と効率を両立しながらの作業は難航。正直、作業中にはヒヤリ・ハツトも発生した。その都度、作業

方法を再検討しながら現場を進めた。改めて林業の現場の厳しさを感じさせられた。

しかし、長嶋職員と若佐・原、両班長を中心に、なんとか困難を乗り越え作業を完了し、市場には多くのスギ大径木を供給することができた。年輪が細かく百年を超える杉の丸太は、板材や平角材として珍重され、多く



写真の人 原重利さん(萩岡)
居尻の現場でも伐採・集材作業に活躍!

県内の間伐材搬出量増加の見込み 原木の需給バランスはどうか?

国が国産材自給率 50%を目標に掲げて始動させた「森林・林業再生プラン」。今年度からプランに基づいた施策が動き出している。それに伴い市場に供給される間伐材が増加することが見込まれている。間伐や搬出に関する仕事が増え、持続されることは山側にとってありがたい。

しかし、その一方で、間伐材がだぶついて原木価格を下落させるのではないかと懸念の声が聞かれる。供給が先行し、需要が追いつかなければ当然価格は下落する。

現在の市況は、どちらかというと供給過多の傾向にあるようで、合板製造業者からの需要はほとんどないということだ。さらに九州方面では供給が多過ぎて、受け入れ拒否の現象が起きているという話も耳にする。

今年度の施策地においても、価格の下落で見込んだ売上に届かなければ現場採算に直接影響を及ぼす。それに、これ以上の原木価格の下落は更なる山の価値の下落につながるため、受け入れがたい。

ところで、震災復興の需要はどのような状況であろうか? 合板製造業者の動きを聞くと、まだまだ復興需要の兆しは感じられない。しかし、その一方で現場では土木工事の職人が足りず、型枠材持参で現場に赴いている方もいるという話も聞く。

いずれにしても需要がなければ丸太はだぶつき、価格は下がる。そんな事態が避けられるよう、搬出した丸太が需要と結びつき、最終消費地までうまく流れていくことを願う。



の製材業者・木材業者に落札されていった。
そのうちの一部は、掛川の製材業者さんが落札し、掛川産材としての利活用が検討されている。市民の寄付が集まり木造駅舎の保存の方向性が出ている「掛川駅」にも活用していただきたく営業をしているところだ。掛川の風土で山主さんが長い年月育てた木、地元の森林組合で伐出した木が活用されていく。

新東名開通式出席! ~平成9年より伐採工事に携わって15年~



職員の尾崎です。4月14日に新富士インターで行われた、新東名の開通式に出席させていただきました。私が就職した頃の森林組合は新東名の伐採事業の最盛期で、就職後しばらくは鹿島・大林組・鴻池組・戸田建設など大手ゼネコンの下で仕事をさせていただきました。そこでは安全管理・工程管理・品質管理など多くを学びました。今回、仕事に携わらせていただいた新東名がついに開通と言うことで、とても感慨深いものがありました。皆さんは新東名を通ってみましたか? 走りやすいですね~。

グラップル付きフォワーダー活躍 ~間伐材出材作業現場にて~

先日、林業重機のひとつ、「グラップル付きフォワーダー」で間伐材の出材作業を行いました。丸太を掴む機能の付いた不整地走行できる丸太運搬車です。運転手は就職3年目の驚業職員。走路の安全確認を徹底しながら、丸太や立木を傷つけないよう、慎重に作業しました。今年度も林内に作業路を開設し、フォワーダーで材を搬出する作業が予定されています。安全作業に努めていきたいと思ひます。



写真の人紹介 原重利さん

「若い衆との山の作業は楽しいよ」

原泉の萩岡地区出身の原さん。地元出身ということで、地域の山の歴史などを良くご存知で、調査や計画などの業務を進める上でとてもありがたい存在です。

「若い衆との仕事は楽しいよ」と、若い職員に勝るとも劣らない体力と身軽さで、様々な現場で活躍されています。時々発してくるギャグは現場を和ませてくれます。



森林組合からのお知らせ

●通常総会にご出席ください

第 51 回の通常総会が開催されます。組合員の皆様は、お誘いあわせのうえ、ご出席ください。

と き：平成 24 年 8 月 30 日（木） 9 時より受付
ところ：掛川市生涯学習センター 2 階 第 4 会議室

●新入職員「山田紘也さん」紹介します

4 月に掛川市寺島出身の山田紘也さんが、技術職員として就職しました。これからどうぞよろしくお願いたします。



●森林組合でも金環日食を観測！



5 月 21 日朝、ちょうど朝礼の時間帯、現場スタッフ皆で金環日食を観測することができました。左はその時の写真です。（上から減光板なし、溶接用減光板、日食観察用減光板）

●森林を取得した際の届出が義務化に

森林法改正により、平成 24 年 4 月より売買・相続・贈与などで森林を新たに取得した場合、その土地のある市町村長への届出が義務付けられました。詳しくは掛川市役所 農林課 林業振興係までお問い合わせください。（TEL0537-21-1147）

クマガイソウの群落に会う

先日、丹間の山の踏査の際、林内でクマガイソウの群落に出会いました。扇型の 2 枚の葉の中心から伸びた茎に大きな花が付いています。花の唇弁の形が、昔の武士が背負った母衣（ほろ）に見えることから、武士、熊谷直実から名前をとってクマガイソウと名付けられたとのこと。



全国育樹祭とは・・・

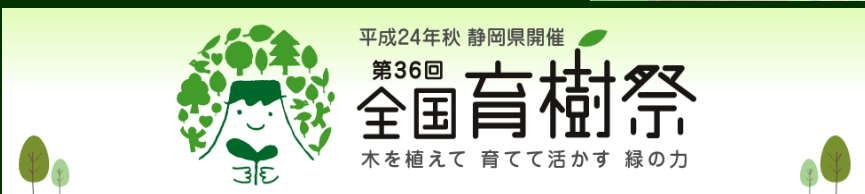
(社)国土緑化推進機構と静岡県が主催で行う、皇族殿下をお迎えして行う国民的な緑の祭典です。6 年前の第 50 回全国植樹祭で、天皇陛下、皇后陛下がお手植えされた木を、皇族殿下がお手入れ(施肥など)されます。また、式典では皇族殿下のお言葉をいただくとともに、森林・林業の発展に寄与した個人・団体の表彰、森林・林業関係者の宣誓などが行われます。

行事の日程

お手入れ行事……平成 24 年 11 月 10 日（土）
伊豆市湯ヶ島 あまぎの森

式典行事……平成 24 年 11 月 11 日（日）
エコパアリーナ

詳細は県のホームページに掲載されています。
「全国育樹祭 静岡」で検索してください。



ココも注目！

11 月 10 日・11 日両日、エコパ会場では「森林・林業・環境機械 展示実演会」が開催されます。チェーンソーや測量機械をはじめ、グラップル・フォワーダ・ハーベスタなどの大型の林業重機まで、大手機械メーカーが参加して、最新機械が展示・実演されます。どんな機械が登場するか楽しみです。

今年 11 月、全国育樹祭 静岡県で開催！
平成 24 年 11 月 10 日・11 日、伊豆の「あまぎの森」と掛川・袋井の「小笠山総合運動公園エコパ」で、全国育樹祭が行われます。皇族殿下が参加される緑の行事が身近で開催されますので、興味のある方は参加されてはいかがでしょうか？

“これいい！” 購買担当「藍ちゃん」の

オススメGOODS!!

足先ガード付
スパイク地下足袋 ¥4,200 -

「踏ん張り力」を発揮するスパイク地下足袋。
つま先に強度のある鉄芯が入っているので、
草刈などの作業でも安心感があります！！



踏ん張り × 安全！



鉄ピンスパイクモールド 高強度鉄芯入り

組合員さまへのお願い

相続等で所有山林に移動（相続・取得・売却）が生じた際は森林組合へご一報ください。組合員名簿および出資証券の名義変更が必要です。

ひとこと 今年オリンピックイヤー。ロンドン五輪開幕までもう間もなくです。熱戦は 7 月 27 日から 8 月 12 日までの日程で開催されます。皆さんの注目はどの種目ですか？ サッカー？ 陸上？ 競泳？ それとも体操？ BMX（自転車）っていうのも面白そうですね！



掛川市森林組合 TEL 0537-25-2111

今年度の森林整備事業

進捗状況を報告します

●県の治山事業

平島地区で、40 ha 規模の本数調整伐の計画があります。秋以降の実施となる予定です。

●森の力再生事業

炭焼地区・平島地区ほかで約 70 ha の計画をしています。また上西郷地区で昨年の台風風の倒木被害地の処理作業も予定しています。

●境界明確化事業・地籍調査事業

今年度、境界明確化事業は行いません。来年度、地籍調査事業に取り組めるよう、計画を進めています。

●森林整備加速化・林業再生事業

今年度より 3 年間行われる事業です。搬出が義務付けられる間伐事業です。今年度 26 ha 分について事業地選定、計画を進めています。